

地域と医療をつなぐコミュニケーションマガジン



医療法人 輝栄会

福岡輝栄会病院 広報誌

〒813-0044 福岡市東区千早4-14-40

TEL:092-681-3115

<http://www.kieikai.ne.jp/>

ご自由にお持ち帰り下さい

秋号

2020年

特集

脳神経・脊髄疾患治療部

— 脳卒中センターから改称 —

『Friday Ovation
東消防署様からの激励を受けて』

新型コロナウイルス対策のため最前線の現場で働く医療従事者のために毎週金曜の12時に感謝の“拍手”を送る「Friday Ovation」が広がっています。
福岡市東消防署様から今年6月に温かい励ましを受け当病院からもエールをおくりました。

福岡市東消防署様からの
メッセージ

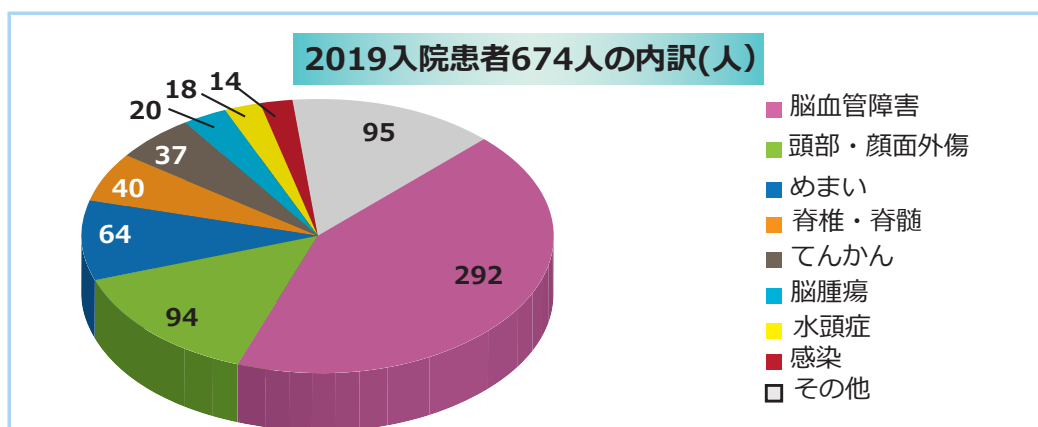


脳神経・脊髄疾患治療部

地域医療に貢献する福岡輝栄会病院。その中でも「脳卒中センター」は診療部門の牽引車として皆様に親しまれてきました。この度、「脳卒中センター」は「脳神経・脊髄疾患治療部」として新たなスタートを切ることになりました。本誌では、副院長、脳神経・脊髄疾患治療部本部長の鈴木聡医師にお話を聞いてみます。

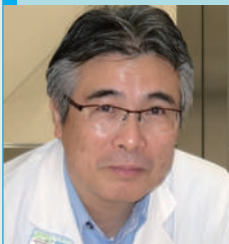
Q 今日はお忙しいところを有り難うございます。「脳卒中センター」が「脳神経・脊髄疾患治療部」としてリニューアルされたと伺いました。一体何が変わったのでしょうか？

A 鈴木医師 脳卒中は、引き続き私たちの診療におけるメインテーマの一つです。しかし、実際に私たちが行っている診療は脳卒中だけではありません。頭部・顔面外傷やめまいで入院される方がたくさんいらっしゃいますし、頸椎症、腰部脊柱管狭窄症に対する手術や、てんかん診療、パーキンソン病や認知症など、脳卒中以外の診療が増えてきています。そのような分野の診療に対するニーズが増してきているのです。私たちの診療内容が変わったというよりも、「脳卒中センター」という名称だけでは、私たちの診療活動の内容を正しく表現することが出来なくなったと言うのが実情です。そこで「脳神経・脊髄疾患治療部」をスタートさせることにしました。



ドクター紹介

INTERVIEW



すずき さとし
鈴木 聡

九州大学医学部卒

脳神経・脊髄疾患治療部本部長
副院長

医療連携室長

医療安全管理委員会委員長

福岡県社会保険審査機構審査委員

医学博士

【医師として一言】

九州大学病院脳神経外科外来医長、病棟医長を経て1996年から新古賀病院、製鉄記念八幡病院、福岡輝栄会病院と、20年余にわたって日本脳神経外科学会指定研修施設の施設長を務めてきました。この間、1,000例以上の外科手術をこなし、2,000例近いガンマナイフ治療を行いました。また、10,000例を優に超える脳神経外科患者さんたちを見てきました。この経験を活かしつつ、最新の医療技術も導入し、標準的かつ最良の脳神経外科診療を行って行きたいと思っています。

【私のもう一つの顔】

小学校4年生で転校した鳥取県米子市の小学校はサッカーが盛ん。朝から晩までひたすらサッカーやっていました。中学、高校もサッカー部。全国大会に二回行きました。大学に入ってもサッカー。卒業してもサッカー。東区医師会サッカー部所属（現在膝を痛めて活動休止中。復帰の目処立たず。）次男は現役Jリーガー。



Q 「脳卒中センター」はなくなってしまったのですか？

A 鈴木医師 いいえ、「脳神経・脊髄疾患治療部」の一つのセクションとして残しています。センター長は伊藤理医師です。伊藤センター長は日本脳神経血管内治療学会の専門医・指導医です。最近の脳卒中治療では、脳血管内治療のウェイトが増えています。そのような実情も反映し、伊藤医師がセンター長に就任したわけです。

Q 最近新聞や雑誌で、「一次脳卒中センター」という言葉を見ることがあるのですが、これは一体何のことですか？

A 鈴木医師 平成30年12月14日、第197回臨時国会において「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係わる対策に関する基本法（脳卒中・循環器病対策基本法）」が制定されました。これに基づいて日本脳卒中学会では、24H/7D（24時間、週7日）体制で脳卒中診療に従事する医師が勤務していて、24時間365日脳卒中患者受け入れ可能な病院を「一次脳卒中センター」として認定することを始めました。これは「常にアルテプラザー静注療法を行う事が出来る病院」を意味します。現在福岡市で14病院、福岡県で47病院が「一次脳卒中センター」として認定されています。もちろん当院も日本脳卒中学会から「一次脳卒中センター」の認定を受けています。

Q 「一次脳卒中センター」と言うからには、二次、三次があるのですか？

A 鈴木医師 今のところ二次、三次の脳卒中センターの認定は始まっていませんが、日本脳卒中学会では「血栓回収脳卒中センター」「包括的脳卒中センター」の認定に向けて準備を進めています。血栓回収とは、脳梗塞急性期の治療方法の一つで、ここ数年で急成長したものです。アルテプラザー静注療法で十分な効果が得られなかった患者さん、或いはいろいろな理由でアルテプラザー静注療法が行えなかった患者さんに対して、ステント型血栓回収器具など最新の治療デバイスを用いて、血栓を血管の中から取り除いて血流を再開通させる治療法です。「血栓回収脳卒中センター」認定には、日本脳血管内治療学会が認定する専門医など、少なくとも三人の血栓回収を行う資格を持った医師が常勤していなければなりません。➡

ドクター紹介

INTERVIEW



いとう おさむ
伊藤 理
島根大学医学部卒
脳卒中センター長
医学博士

【医師として一言】

1997年国内2例目（九州で1例目）となるGDCによる脳動脈瘤コイル塞栓術が行われた飯塚病院で、1999年から脳血管内治療の修練を受け、以来20年余にわたり脳血管内治療のスペシャリストとして1,000例以上の血管内治療を行ってきました。脳血管内治療は頭を切らずに、手足の血管からカテーテルと呼ばれる細い管を頭の血管まで挿入して治療を行います。対象となる主な病気は脳動脈瘤、脳梗塞、頸動脈狭窄症といった脳血管障害、いわゆる脳卒中です。今後もこれまでの経験を活かし最新の脳血管内治療を提供してお役に立ちたいと考えています。

【私のもう一つの顔】

私の健康法はヨガと自転車です。朝はヨガ（太陽礼拝）で心身の状態を整え、その後おいしく朝ご飯を食べて仕事に出かけています。休みの日は自転車に乗って気分転換です。自転車といっても、最近はミニベロ（小径自転車）に乗ってのポタリング（自転車で散策）を楽しんでいます。爽やかな風を感じての街乗りは最高です。



当院には有資格者が4人おり、「血栓回収脳卒中センター」認定の基準を満たしています。「血栓回収脳卒中センター」として認定される施設は、「一次脳卒中センター」の1/2から1/3程度であろうと考えられます。

「包括的脳卒中センター」についてはまだその認定基準が公表されていないため詳しいことはよく分かりません。

Q 脳卒中に力を入れておられることはよく分かりました。その他に「脳神経・脊髄疾患治療部」ではどのようなことをされているのですか？

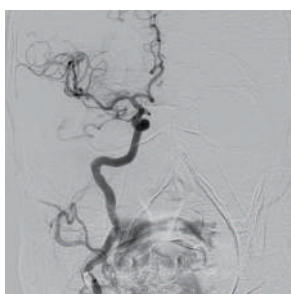
A **鈴木医師** 最近脊椎・脊髄の手術が増えています。脊髄や脊椎の手術は整形外科がやるものと思われるがちですが、脳神経外科手術の大切なレパートリーの一つです。私が九州大学病院脳神経外科に勤務していた頃には、頸椎手術の件数が整形外科よりも多い年もありました。

脳神経外科外来には手足のしびれや麻痺を訴えて来られる患者さん達がたくさんいらっしゃいます。ご本人は脳に異常があるのではないかとと思って脳神経外科に来られるのですが、きちんと診察すると頸椎や腰椎、たまには胸椎や仙椎に異常がある場合があります。脊髄・脊椎のどこに問題があるかしっかり診断をつけた上で、顕微鏡を使って丁寧に手術すると、より低侵襲でよりよい結果が得られます。

血栓回収（治療前後の血管撮影と取り出した血栓）



治療前：右内頸動脈閉塞



治療後：再開通



取り出した血栓

ドクター紹介

INTERVIEW



ゆう い え
尤 郁偉

東京医科歯科大学医学部卒

脳神経外科部長

福岡市東区医師会 理事

医学博士

【医師として一言】

脳卒中をはじめとする脳疾患に対して、脳神経外科医として専門性の高い医療を行っていくことに加えて、患者さんやご家族の希望に寄り添った医療を提供し、脳の機能を中心に全身を診ることを心がけております。そして、患者さんにご家族の現在だけでなく未来に至るまで、何ができるかを考えて日々診療にあたっています。

【私のもう一つの顔】

九州中の温泉を巡ることを楽しみの一つにしています。好きが高じて温泉ソムリエや温泉療法医の資格も取得しました。いつか温泉を活かした健康増進に向けた活動も提供していければと思っています。



Q 最近認知症が話題ですが、脳神経・脊髄疾患治療部でも対応できるのですか？

A 鈴木医師 もちろん対応していますよ。認知症を専門にしたいと脳神経外科医になる人はいないと思いますが、脳神経外科外来には認知症の方々がたくさん受診されます。日本脳神経外科認知症学会というのが5年ほど前からスタートし、私も会員になっています。昨年は筑波で講習会もあり、受講してきました。精神科や神経内科を受診する認知症の方も多いと思いますが、精神科受診というのはこころの中で敷居が高かったり、神経内科は数が少なくてなかなか見つからなかったりで、身近にある脳神経外科を受診される事が多いのだと思います。それから「治る認知症であって欲しい」という願いもあるのではないかと思います。慢性硬膜下血腫や脳腫瘍などでは手術によって劇的に認知症状が改善することをよく経験します。毎週木曜日の午後1人限定で「もの忘れ外来」を始めました。担当は鈴木です。電話でのお問い合わせが多くて予約がずいぶん先になってしまうので、枠を何とか広げようとしているところです。しかし経過を詳しく伺ったり、認知機能のテストをしたり、MRIなどの画像検査を行うとどうしても時間がかかり、たくさんの患者さんを診察するのはなかなか難しいところがあります。当院にはSPECT(シングルフォトンエミッション断層撮影装置)という器械があります。脳血流の分布によって、アルツハイマー病などの認知症の病型分類が出来ます。また、レビー小体型認知症やパーキンソン病で特異的に低下するドーパミントランスポーターの状態を見るDATスキャンという検査で、より確実な診断を行うことが出来ます。

Q 「機能脳神経外科」ではどのようなことをしているのですか？

A 鈴木医師 なじみのない名前かも知れませんね。てんかんやパーキンソン病といった機能的疾患をあつかっています。難治性てんかんに対する迷走神経刺激装置埋め込み手術、パーキンソン病や不随意運動に対する深部脳刺激装置埋め込み術、痙攣に対するバクロフェンポンプ埋め込み術といった手術も行いますが、まずは正確な診断をつけ、適切な内服治療から始めています。主に石橋医師が担当しています。➡

ドクター紹介

INTERVIEW



いしばし ひであき
石橋 秀昭
高知大学医学部卒
機能脳神経外科部長
医学博士

【医師として一言】

九州大学脳神経外科入局後1995年から、てんかん・脳波の臨床研究を始めましたが、最近では更にパーキンソン病や難治性の痛みの外科的治療も行っています。福岡県内はもとより、九州各地、関東、関西から転居で東区周辺に移ってこられる患者様のご紹介を受けることも多く、新しい生活環境で病気による生活の質を落とすことがないように診察することを心がけています。

【私のもう一つの顔】

中学校の頃から陸上競技を続けてきました(大した記録はありません)。医師になってから運動はご無沙汰でしたが、10年ほど前からトレッキングを始め、2年前から暇なときは5-10kmのジョギングをしています(練習量が少ないので、医師になってから今が一番太っていますが)。マラソンも2回挑みましたが、練習不足で膝が動かなくなり25-30km近辺で中途棄権。一度は完走したいと思っています。



患者さんの数は脳卒中のように多くはありませんが、専門医が少ないために適切な治療が受けられず、困っている患者さん達がたくさんおられる領域です。てんかんとひとくちにいてもいろいろな種類のとんかんがあります。どの種類のとんかんであるかによって、使う薬が違います。どの種類のとんかんか診断をつけるにあたって、脳波検査はとても大切な検査です。脳波検査を行うことができる施設はたくさんありますが、正しく判読できる専門医の数は驚くほど少ないのが実情です。石橋医師は脳波判読の専門医です。きちんと判読した上で、適切な抗けいれん薬を処方することは、てんかん治療の第一歩です。

Q 一口に「脳神経・脊髄疾患治療部」と言ってもなかなか奥が深いんですね。

A 鈴木医師 そのとおりです。文字通り、「脳」「神経(末梢神経)」「脊髄・脊椎」に係わる分野は一通りやっています。

Q 最後に、福岡輝栄会病院脳神経・脊髄疾患治療部の特徴をひとことをお願いします。

A 鈴木医師 はい。ひとことというならば、「守備範囲の広さ」と「横のつながり」でしょうか。脳腫瘍や外傷、そして脳血管障害に対する直達手術などについては、今回は触れませんでした。しかし、頭蓋底外科やバイパス手術、複雑な脳動脈瘤のクリッピングなど、難易度の高い手術も行っています。これに脊椎・脊髄、末梢神経、機能脳神経外科、脳卒中後の痙縮に対するボトックス治療、もの忘れ外来など、脳神経疾患を幅広く診療しています。それから当院は九州大学脳神経外科の連携施設として日本脳神経外科学会指定訓練施設として活動しています。グリオーマの遺伝子診断など、民間病院では難しい領域は九州大学脳神経外科と密に連絡を取りながら診療に当たっています。外来診療も九州大学脳神経外科のスタッフにも手伝ってもらっています。ガンマナイフ治療、放射線治療は当院では出来ませんが、「横のつながり」で福岡市内外の施設に治療をお願いしています。また、周辺のクリニックの先生方との連携も密にとっています。

Q 心強い限りですね。長い時間有り難うございました。

ドクター紹介

INTERVIEW



あべ ごろう
阿部 悟郎
熊本大学医学部卒
脳血管内治療科部長

【医師として一言】

日本でもトップクラスの救急搬入数を誇る、福岡徳洲会病院で初期研修を受け、救急医療を幅広く習熟いたしました。数多くの救急疾患を診る中で、「病気だけではなく、患者さん全体を診る」事の重要性を学びました。その後、国立循環器病センターにて最新の脳卒中治療を研鑽し、稀な疾患や難度の高い手術を経験いたしました。福岡輝栄会病院ではその経験を活かし、脳卒中診療を中心に行っております。脳梗塞の超急性期における血行再建術や、慢性期での後遺症(痙縮)緩和治療となるボトックス治療など、最初から最後まで脳卒中診療を心がけています。

【私のもう一つの顔】

幼少期より運動が好きで、様々なスポーツに熱中していました。出身地である宮崎の海で泳ぐのが大好きで、泳ぐことにはまり中学では水泳部で泳ぎ続けていました。大学ではラグビーで仲間とやり遂げる楽しさを感じ、弓道で己との闘いの難しさを痛感しました。残念ながら今ではあまり運動しなくなり、それに伴ってお腹が順調に出てしまっています。外来患者さんとダイエットの難しさを嘆く日々が続いています。時々病院の仲間と遊ぶバトミントンがとても楽しみです。



今回は福岡輝栄会病院脳神経・脊髄疾患治療部鈴木聡先生にお話を伺いました。現在福岡輝栄会病院脳神経・脊髄疾患治療部には6人の常勤医が在籍しており、すべての先生たちが日本脳神経外科学会の専門医として認定されているとのこと。また、サブスペシャリティーも充実していて頼もしい限りです。日曜祝日を除く、月曜日から土曜日まで午前9時半から午後6時まで外来診療を行っていて、原則予約担当と新患担当の二人の医師が毎日外来に出ています。時間外もオンコール体制でしっかりカバーしているとのこと。これからの福岡輝栄会病院脳神経・脊髄疾患治療部の活躍に期待して下さい。



脳神経・脊髄疾患治療部

- (本部長：鈴木聡)
- 脳神経外科 (部長：尤郁偉)
- 機能脳神経外科 (部長：石橋秀昭)
- 脳卒中センター (センター長：伊藤理)
- 脳血管内治療科 (部長：阿部悟朗)
- 医師：吉野弘子

【脳神経外科 外来診療スケジュール】

診察時間 9:30～13:00 14:00～18:00
※金曜日の午後の診療開始 14:30～

	月	火	水	木	金	土
午前	鈴木 聡 阿部 悟朗	尤 郁偉 吉野 弘子	担当医	鈴木 聡 尤 郁偉	石橋 秀昭 伊藤 理	担当医
午後	阿部 悟朗	尤 郁偉	西村 中 (九大)	鈴木 聡 (もの忘れ外来)	阿部 悟朗 (14時30分から)	担当医
	石橋 秀昭	伊藤 理		吉野 (17時まで) 尤/阿部 (17:00～17:30)	吉野 弘子 (17時まで)	



ドクター紹介

INTERVIEW



よしの ひろこ
吉野 弘子
山口大学医学部卒
医学博士

【医師として一言】

山口大学卒業後、山口県内や北九州市で主に脳卒中・頭部外傷の診療に携わってまいりました。いずれも救急疾患との関連の強い職場が多く、昼夜問わず数日にわたり手術が続いたこともありました。

10年以上山口で診療を行ってきましたが、これまでの経験を活かし、生まれ育った福岡の医療に貢献できたらと思いこの4月から当院で診療を行っております。

少しでも患者さんに寄り添った診療を行っていきたくて思っております。

【私のもう一つの顔】

小学生の時には世界的にも影響力のある某漫画の影響で地域のサッカーチームに入っていました。その後サッカーを続けることはできませんでしたが、高校・大学と硬式テニス部で活動をしていました。

この数か月はなかなかできていませんが、体を動かすことが好きで就職後の転勤続き(13年で10か所!)の中でも相手を見つけてはテニスを続けています。



福岡輝栄会病院 外来診療週間日程表

受付時間は診療終了時間の30分前までとなります。
R2.10.1現在
【診療時間】 午前9:00～13:00／午後14:00～18:00

		月	火	水	木	金	土	
脳神経外科 (9時30分から 診察開始)	午前	鈴木 聡	尤 郁偉	担当医	鈴木 聡	石橋 秀昭	担当医	金曜日の診察開始 14:30から 木曜日の吉野 17時まで 木曜日の尤 阿部 17:00～17:30
		阿部 悟朗	吉野 弘子		尤 郁偉	伊藤 理		
	午後	阿部 悟朗	尤 郁偉	西村 中 (九大)	鈴木 聡 (もの忘れ外来)	阿部 悟朗 (14時30分から)	担当医	
		石橋 秀昭	伊藤 理		吉野/尤/阿部	吉野 弘子 (17時まで)		
理事長外来	午前		中村 吉孝		中村 吉孝		中村 吉孝	
外 科 (消化器・肛門・乳腺)	午前	竹内 正昭	竹内 正昭	二又 泰彦	山本 純也	二又 泰彦	山本 純也	
		山本 純也	山本 純也	加藤 大祐	榎 研二	竹内 正昭	二又 泰彦	
	午後	竹内 正昭	竹内 正昭	加藤 大祐	榎 研二	二又 泰彦		
脊椎・脊髄外科	午前		佐々木邦雄	佐々木邦雄		佐々木邦雄		
整 形 外 科	午前	神崎 直人	石黒 健也	緒方 淳也	石黒 健也	神崎 直人	九大担当医	水曜日の診察開始 14:30から
	午後	緒方 淳也	神崎 直人	宮崎 義久 (14時30分から)	緒方 淳也	石黒 健也	田浦 智之	
泌 尿 器 科	午前	野瀬 清孝		野瀬 清孝	野瀬 清孝		野瀬 清孝	午後の受付時間 新患16:00 再診16:30まで
	午後		九大担当医			九大担当医		
形 成 外 科	午前	山野辺裕二	山野辺裕二	山野辺裕二	小柳 俊彰 (10時から)	山野辺裕二	山野辺裕二	
	午後	山野辺裕二 (16時から)	山野辺裕二 (16時から)	山野辺裕二 (16時から)		山野辺裕二 (16時から)		
眼 科	午前			九大担当医		九大担当医		午後の受付時間 16:00まで
	午後							
内 科	午前	藤光 和宏	大嶋 葉子	担当医	藤光 和宏	藤光 和宏	大嶋 葉子	
		大嶋 葉子	担当医	眞崎 由子	徳山 隆	石川 司朗	担当医	
		石川 司朗	眞崎 由子			徳山 隆	勝見 真悟	
	午後	徳山 隆	担当医	徳山 隆	徳山 隆	徳山 隆	藤澤 伸光	
			川本真由美		森戸 清人			
消化器内科	午前	川本真由美	勝見 真悟	森戸 清人	勝見 真悟	川本真由美	森戸 清人	
糖 尿 病 外 来	午前		木村美嘉子	木村美嘉子	木村美嘉子	牧野 英一 (第2・第4)	九大担当医	
	午後	木村美嘉子						
循 環 器 内 科	午前	大塚 頼隆		石川 司朗	大塚 頼隆	小山 卓	小山 卓	
	午後				石川 司朗	石川 司朗		
総 合 診 療 部	午前	馬場 健吉	中村 吉孝		石川 司朗	馬場 健吉	中村 吉孝	
	午後						馬場 健吉	
健 診 科	午前	鈴宮 寛子	鈴宮 寛子	担当医	鈴宮 寛子	鈴宮 寛子	担当医	

本誌を読んでのご意見、ご感想をお聞かせください

皆様にごいただきましたご意見は、今後の誌面作りの参考にさせていただきます。より良い誌面作りへのご協力を
 お願いいたします。(ご回答いただきました内容は広報誌等の充実のためのみに使用し、それ以外では使用いたしません。)



交通アクセス

JRご利用の方

鹿児島本線 千早駅下車 徒歩約5分

西鉄電車ご利用の方

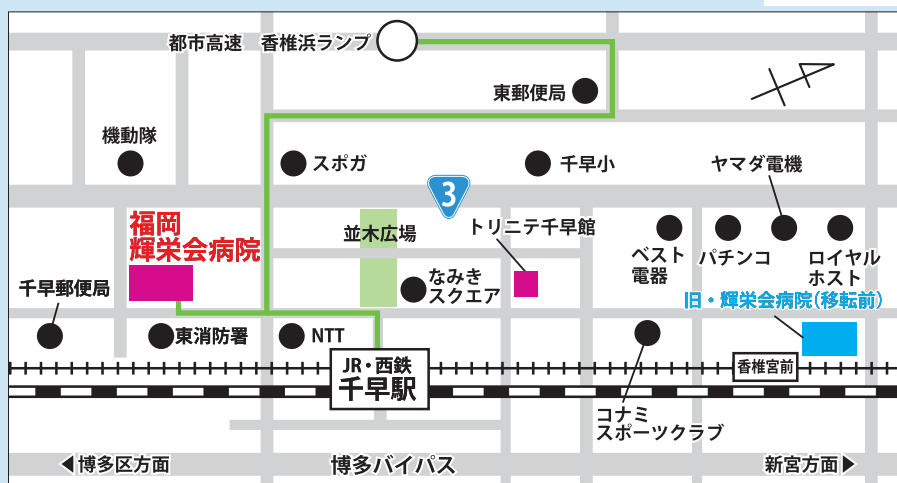
貝塚線 千早駅下車 徒歩約5分

地下鉄ご利用の方

貝塚駅 西鉄貝塚線乗り換え
 千早駅下車 徒歩約5分



詳しくはホームページで
<http://www.kieikai.ne.jp/>



医療法人輝栄会 福岡輝栄会病院

〒813-0044 福岡市東区千早4丁目14-40

TEL 092-681-3115(代表) FAX 092-681-3972